

「国宝・桜ヶ丘銅鐸と古代の暮らし」

1. ねらい

- 神戸市内（灘区桜ヶ丘町）から出土した国宝「桜ヶ丘銅鐸・銅戈群」とともに、古代の暮らしについて知る。
- 古代の道具や銅鐸に実際に触ったり、観察したりして、当時のくらしや銅鐸に込められた祈りについて考える。
- 歴史学習のはじまりにあたって、古代の人々のくらしを体験し、関心や意欲を高めるとともに、生活の知恵や工夫を学ぶ取る。



2. 準備物

- ◆博物館：石器・土器・木製道具・貫頭衣・桜ヶ丘銅鐸・銅戈（複製・復元）数個、PC、ワークシート、火おこしセット
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード、HDMI ケーブル、ティッシュ、ゴミ袋、バケツ（消火用水入り）
- ◆児童生徒：筆記用具、動きやすい服装、水筒、うちわ

3. 実施場所例

- 【銅鐸や古代の道具の観察】・・・理科室のように、大きな机でグループ活動ができる部屋
- 【火おこし体験】・・・外の場所（雨天時はひさしのある場所が望ましい）

4. 授業の流れ

学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
<p>グループ活動① 古代の道具や国宝・桜ヶ丘銅鐸について学ぶ (45分)</p>	<p>○古代の生活で使われた道具や、桜ヶ丘銅鐸が発見されたいきさつを知る。 ○銅鐸を観察し、表現されている絵をワークシートにスケッチする ○グループごとに描かれている絵について考え、解説を聞く ○古代の道具に触れる。</p> 	<p>◇グループごとに指導</p> <p>◇弥生時代の生活を想像して、自由に考えさせる。</p> <p>◇「4号銅鐸」「5号銅鐸」とともに観察させる。</p> <p>◇それぞれが意見を発表し、多数の意見だけでなく、よく考えられた意見を取りあげるよう助言する。</p> <p>◇精巧なレプリカ資料を実際に触らせるなど、体験を促す。</p>
<p>グループ活動② 火おこし体験 (45分)</p>	<p>○火について知り、火をおこす。</p> 	<p>◇火おこし器の使い方を説明し、適宜アドバイスをする。</p>
<p>まとめの話</p>		

「源平合戦図屏風から見える平家物語」

1. ねらい

- 資料を読み解き、観察する楽しさを味わう。
- 源平合戦が古代の貴族政治から中世の武家政治への重要な節目となったことを理解する。
- 「平家物語」が国民文学として受け継がれていることを知る。


2. 準備物

- ◆博物館：源平合戦図屏風（複製 一の谷・屋島の戦い）、PC、ワークシート
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード、HDMIケーブル、長机4台（2台直列で、屏風1隻がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	屏風とは何か 屏風の見方 (一の谷合戦図)	○屏風について説明を聞く。 ○屏風に描かれている逆落としや敦盛の最期の場面を知る。	◇屏風・源平合戦・平家物語の基本的な解説をする。 ◇「逆落とし」「敦盛最期」の場面解説をする。
展開	20	屏風から探そう (屋島合戦図) ①文章の読み取りと屏風の観察 A. 「嗣信最期」 B. 「那須与一」 C. 「弓流し」	○3つの平家物語の文章を読む。 ○実際に屏風を観察し、その場面が描かれている部分を探すとともに、具体的な事物について確認する。	◇屋島合戦図屏風にも代表的な場面が描かれていることを示唆する。 ◇それぞれの場面について、簡潔に説明する。
	35	②解説	○解説を聞く。	◇それぞれの場面について、補足説明をする。
まとめ	40	国民文学としての平家物語について	○まとめの話を聞く。	◇琵琶法師の語りによって一般庶民も楽しめた平家物語が国民文学として受け継がれてきたことを説明する。 また、資料をじっくり観察することの大切さとおもしろさについてふれる。
	45			



「はるかなる西洋との出会い」

1. ねらい

- 資料をじっくり観察し、発見する楽しさ、気づく楽しさを味わう。
- キリスト教と南蛮貿易の密接な関係について理解する。
- 神戸市立博物館がザビエル像や南蛮屏風を所蔵している由来と、資料の保存について知る。

2. 準備物

- ◆博物館：火縄銃（複製）、聖フランシスコ・ザビエル像（複製 額装）、南蛮屏風（複製 右隻・左隻）、PC、ワークシート
- ◆学校：大型TVモニター（またはスクリーン&プロジェクター）、延長コード、HDMIケーブル、長机4台（2台直列で、屏風1隻がのります）
- ◆児童生徒：教科書・筆記用具

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	鉄砲とキリスト教の伝来	<ul style="list-style-type: none"> ○火縄銃とキリスト教の伝来について知る。 ○ザビエル像を神戸市立博物館が所蔵している理由を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇既習事項と関連させながら確認する。 ◇神戸市立博物館が所蔵している経緯を池長孟氏と関連させて説明する。
展開	20	南蛮屏風の観察   解説を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ○南蛮屏風に描かれた絵画を観察する。 ○屏風と作者について知る。 ○ワークシートに取り組む。  ○観察したことについて発表し、それについての解説を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇屏風と狩野内膳についてふれる。 ◇10名程度ずつ、屏風で探させる。（他はワークシートで） ◇キリスト教・南蛮貿易・日本人や南蛮人のようすについて説明する。 ◇南蛮貿易とキリスト教の布教が一体のものであったことにふれる。
まとめ	40 45	文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○南蛮屏風の素晴らしさと文化財の保護について知る。 ○左右並んだ屏風を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇狩野内膳の南蛮屏風の魅力や豊臣秀吉との関係について説明する。 ◇資料に触れたり、じっくり観察したりすることの大切さとおもしろさについてふれる。

「伊能忠敬の日本地図」

1. ねらい

- 幕末の社会的背景の中での伊能忠敬の人物像を知る。
- 作業を通して伊能図の正確さを体感し、昭和初期まで伊能図を基にした地図が使用されてきたことを理解する。
- 資料を観察し、気づいたことを自らの言葉で表現することができる。


2. 準備物

- ◆博物館：伊能小図（複製 西日本・北海道）、小方儀、PC
作業用地図（伊能図・現代地図）
- ◆学校：大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、HDMIケーブル、トレーシングペーパー（A4サイズ・1人1枚）、
長机5台+4台（伊能小図がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具、バインダー（たんけんバッグ、もしくは下敷きとクリップ）

3. 実施場所例

- 多目的室のように、広いスペースがある部屋（日光を遮る暗幕、カーテン必要）

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	伊能図と伊能忠敬について	○伊能忠敬の人物像や測量をはじめた経緯、伊能図の種類などを学習する。	◇パワーポイントで伊能図を提示する。
展開	20	①伊能の地図と今の地図を比べてみよう！	○伊能小図の神戸周辺部拡大プリントを使用し、現在の地図と比較する。 ・拡大図にトレーシングペーパーを重ね合わせて海岸線を写し取る。 ・写し取った後、現代地図（コピー）に重ね合わせて比較する。 ・観察したことについて発表し、それについての解説を聞く。	◇写し取らせながら、地図から気づいたことがないか、考えさせる。
	30	②伊能図の観察と詳細解説	 ○伊能小図を見ながら解説を聞く。	◇記号や色の意味や、2種類の地図の特徴を解説する。
まとめ	40	伊能と伊能図のその後	○伊能と伊能図のその後について知る。	◇原本が焼失していることや写本が昭和期に入っても活用されていたことなどを説明する。
	45			



「神戸から見る文明開化」

1. ねらい

- 地域に関係のある教材を積極的に活用し、身近な地域の歴史に対する興味関心を高める。
- さまざまな資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら近代都市へと変容していく様子を考察する。



2. 準備物

- ◆博物館：長谷川小信 画 『摂州神戸新建西洋館市街賑イ之図』（複製）
『神戸名所之内蒸気車相生橋之景』（複製）、それぞれのコピー（児童生徒数分）
神戸外国人居留地計画図（複製）、鉄道レール（実物）、PC
- ◆学校：大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、
HDMI ケーブル、ホワイトボード&マーカー（または黒板&チョーク）、
長机3台（神戸外国人居留地計画図がのります）
- ◆児童生徒：筆記用具

3. 実施場所例

- 理科室のように、大きな机でグループ活動ができる部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	神戸のイメージ 開港と外国人居留地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが住んでいる神戸のイメージを発表する。 ○開港当時の神戸のようすを、当時の新聞から考察する。 ○神戸外国人居留地の形成について考え、地図で位置を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇港町神戸のイメージを膨らませる。 ◇開港と居留地建設が外国文化を受け入れる背景となったことを解説する。 ◇現代の位置と繋がるように解説する。
展開	20 35	文明開化	<ul style="list-style-type: none"> ○錦絵を見て、外国からどのような文化や習慣、生活用具が取り入れられたのかを話し合う。 ○グループごとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇発表を聞いて、補足説明をする。 ◇神戸に関係のある教材を活用することにより、身近な地域の歴史に対する興味・関心を高めさせる。
まとめ	40 45	近代化を象徴する実物資料	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道開通当時のレールを観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鉄道開通に象徴される神戸の近代化について補足説明をする。 ◇さまざまな歴史資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら近代都市へと変容していったことを理解させる。

「浮世絵入門」

※図工・美術向け

1. ねらい

- 版木を用いて浮世絵を摺る体験を通して、浮世絵文化の楽しさや、彫師や摺師の技術の高さを実感する。

2. 準備物

- ◆ 博物館： 版木等印刷セット一式、浮世絵（実物）、PC、模写用ワークシート
- ◆ 学校： 大型TVモニター（またはプロジェクター&スクリーン）、延長コード、HDMIケーブル、書画カメラ、紙コップ35個程度
版画和紙（10×15cm ハガキ大）×2枚×児童生徒数
- ◆ 児童生徒： 筆記用具・色鉛筆

3. 実施場所例

- 図工室や理科室のように、水道が使える部屋

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童生徒の学習活動	指導者の支援
導入	0	浮世絵とは	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 錦絵と肉筆画 ・ 美人画、役者絵、名所絵、うちわ絵、だまし絵等 ○ 絵師、彫師、摺師の共同作業であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 作品を見た印象と造形要素（色・形・構図）の関わりに注目させる。 ◇ 庶民生活の中に浮世絵が深く関わっていることを解説する。 ◇ 絵師・彫師・摺師の仕事を解説する。
展開	25	浮世絵の作り方・摺りの方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に摺る様子を見て、その過程を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 富嶽三十六景神奈川沖浪裏を再現した版木で摺りの実演を行う。
	45	多色版画摺り体験 浮世絵の模写 浮世絵の観察	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で多色多版の版画を摺る。 ○ 好きな浮世絵を1枚選び、模写する。 ○ 実物の浮世絵を観察する。  	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 摺り方について、適宜アドバイスをする。
まとめ	85 90	浮世絵が西洋に与えた影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浮世絵と印象派との関係を知る。 	

「港の発展（神戸市のうつりかわり）」

※オンライン授業

1. ねらい

- 地域に関係のある教材を積極的に活用し、身近な地域の歴史に対する興味関心を高める。
- さまざまな資料から、神戸が外国の文化を取り入れながら大きな港町へと変容していく様子を考察する。

2. 準備物

- ◆博物館：ワークシート（庁内メール等で送付）
- ◆学校：プロジェクター&スクリーン、KIIF 端末
- ◆児童：筆記用具、わたしたちの神戸

3. 実施方法

- ネット環境のある教室で、Teams でつないだ KIIF 端末をスクリーンに映して授業。

4. 授業の流れ

過程	時間	学習内容	児童の学習活動	指導者の支援
導入	0	神戸のイメージ 開港と外国人居留地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが住んでいる神戸で有名なものを考えて発表する。 ○開港以降の、神戸のようすの変化を歴史資料から考察する。 ○神戸外国人居留地の形成について、当時と現在の写真を見比べながら理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ◇港町神戸のイメージを膨らませる。 ◇開港と居留地の建設が外国文化を受け入れる背景となったことに気づかせる。 ◇現代の位置と繋がるように解説する。
展開	20	外国から入ってきたものをさがそう！	<ul style="list-style-type: none"> ○『摂州神戸海岸繁栄之図』を見て、「外国から入ってきたもの」をさがす。 ○発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ○解説を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「乗り物」「服装」「建物」に注目するよう促す。
まとめ	35	港の発展	<ul style="list-style-type: none"> ○港のうつりかわりのようすを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・生田川のつけかえ工事 ・コンテナ対応の港への変化 ・戦争による被害 ・人工島の建設 ・阪神・淡路大震災による被害 ・神戸空港の建設 	<ul style="list-style-type: none"> ◇さまざまな歴史資料から、神戸が港の発展とともに国際都市へと変容していったことを理解させる。